

様式第3号(第9条関係)

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

|           |   |        |  |
|-----------|---|--------|--|
| 附属機関等の名称  | みよし市行政評価委員会   |        |  |
| 開催日時      | 平成28年7月11日(月)午後1時30分から午後4時まで  |        |  |
| 開催場所      | みよし市役所3階301会議室  |        |  |
| 出席者       | (会長)村松幸廣<br>(副会長)望月恒男<br>(委員)後藤眞治、野々山幸隆、鈴木豊實、富田義親<br>※敬称略<br>小野田市長<br>(事務局)増岡政策推進部長、原田政策推進部次長、野々山企画政策課長、竹内副主幹、山岸主事  |        |  |
| 次回開催予定日   | 平成28年8月19日(金)   |        |  |
| 問合せ先      | 政策推進部企画政策課 担当者名 山岸<br>電話番号0561-32-8005<br>ファックス番号0561-76-5021<br>メールアドレスkikaku@city.aichi-miyoshi.lg.jp   |        |  |
| 下欄に掲載するもの | <ul style="list-style-type: none"> <li>・議事録全文</li> <li>・議事録要約</li> </ul>  | 要約した理由 |  |
| 審議経過      | <p>【事務局】定刻になりましたので、ただいまから第2回みよし市行政評価委員会を開催します。</p> <p>《礼の交換》</p> <p>【事務局】はじめに、会長より一言ごあいさつをお願いいたします。</p> <p>【村松会長】本日は、外部評価対象事業のヒアリングということで、委員の皆様には正しい評価ができるよう質問をしていただきたいと思います。よろしく申し上げます。</p> <p>【事務局】ありがとうございました。<br/>それでは、本日の議題に入ります。村松会長。よろしく申し上げます。</p> <p>【村松会長】それでは、本日の議題であります「事務事業外部評価の対象事業のヒアリング」を行っていきます。ヒアリングの流れについてですが、次第の日程表に沿って事業担当課から事業の概要について5分程度で説明をいただき、その後質疑応答を行っていきたいと思います。</p> |        |  |

審 議 経 過

それでは、「農村公園維持管理事業」について事業概要の説明をお願いします。

【公園緑地課長】《外部評価個別シートに基づいて説明》

【村松会長】ありがとうございました。質疑応答に移ります。

【村松会長】利用状況、利用者数、利用頻度について説明願います。

【公園緑地課長】各公園の管理については、地元の行政区が行っています。各公園の利用人数については把握しておりませんが、苧生の公園につきましては、グラウンドゴルフ、ゲートボール、ドッジボールが毎週行われているというように聞いております。それ以外の公園については、草なども伸び放題になっている箇所もありそれほど利用されていないものと考えられます。

【後藤委員】都市公園も同じ部署で事務を行っているので、農村公園の冠を取り、公園の名称の一元化はできないでしょうか。

【公園緑地課長】同様の施設で児童遊園がございまして、管理方法等農村公園と同様に行っていますが、児童遊園と農村公園、都市公園それぞれ発生の起源が違うため、管理は一つの課で行いますが予算上は別々の事業で行っていく考えです。

【後藤委員】児童遊園と農村公園は都市公園条例とは別の施設であると思いますがこれらの一元化はできませんか。

【公園緑地課長】2つの施設についても条例が別々にあり、施設の性格及び種別が違うので一元化は難しいです。

【野々山委員】農村公園の内訳をみると遊具のあるところとないところがありますが、これは何か理由があるのでしょうか。

【公園緑地課長】これにつきましては、先ほども説明させていただいたとおり地元の管理となっていますので地元の要望によって遊具の有無が生じています。

【望月副会長】27年度のトータルコストが大幅に増加していますが、理由があるのでしょうか。

【公園緑地課長】これにつきましては、台風の影響で修繕が必要になった施設があったために増加しています。

【村松会長】使用頻度が低い中でもこの事業は今後も続けていく必要がありますか。

【公園緑地課長】地元の意向によっては今後検討する必要があると思いますが、基本的には維持していく考えです。

|         |   |
|---------|---|
| 審 議 経 過 | <p>【村松会長】その点については、一度地元聞いてみる必要があるかと思<br/>います。</p> <p>【後藤委員】市が全面的に管理するという考えはありますか。</p> <p>【公園緑地課長】今のところありません。</p> <p>【村松会長】災害時の避難場所としての利用は想定されていますか。</p> <p>【公園緑地課長】災害時には、避難場所として利用する予定です。</p> <p>【富田委員】造られてから約40年経過しているので名称も現状に即した<br/>ものにしてはどうかと思います。また、管理については地元が行って<br/>いくべきとは思いますが、地元主導とは言いつつもなんでも地元の要<br/>望に合わせて市の方針を出していくことも今後は必要かと思いま<br/>す。</p> <p>【村松会長】ありがとうございました。それでは続いて「農業集落排水維<br/>持管理事業」のヒアリングに移ります。事業の説明をお願いします。</p> <p>【下水道課長】 《外部評価個別シートに基づいて説明》</p> <p>【村松会長】では、質疑応答に移ります。公共下水道に接続することによ<br/>る効果を教えてください。</p> <p>【下水道課長】現在市内に7地区の処理場があるわけですが、これらは当<br/>然古いものから老朽化していきます。現在計画している東山地区処理場の<br/>公共下水道への接続を行うと、年間約200万円の削減になると見込んで<br/>います。</p> <p>【望月委員】28年度計画値のトータルコスト(特に一般財源)が27年度<br/>実績値から大幅に増加していますが、その理由は何でしょうか。</p> <p>【下水道課長】27年度と28年度は予算額ベースでいえば大きな差はあ<br/>りません。維持管理という事業の性質上、どうしても緊急な修繕などを見<br/>込んでおく必要があるために27年度の決算額と28年度の予算額を比<br/>較すると差が出ています。</p> <p>【後藤委員】公共下水道事業と比べて維持管理費はどれぐらいの差があ<br/>りますか。</p> <p>【下水道課長】ポンプ場の分のコストが浮くので試算にはなりますが、全<br/>体で6,000万円ほど差が出るものと思われま</p> <p>【後藤委員】これらはすぐにすべてを接続することはできないものです<br/>か。</p> <p>【下水道課長】一気にはできないので計画的に一つずつ行っていく予定で<br/>す。接続に当たっては近隣市町との調整も必要ですし、公共下水道と農業<br/>集落排水では国の管轄が違うこともあり補助金の兼ね合いもあることも</p> |
|---------|---|

審 議 経 過

その要因です。32年度に予定している東山処理区については処理場の大きさや流域下水道に近いなど接続しやすい状態にありますので、そういった接続のしやすい処理区から順に行っていく予定です。

【野々山委員】今言われました近隣市町との調整とはどのようなものなのですか。

【下水道課長】流域下水道は元々8市3町で造ったもので接続数の増加に伴って処理場も大きくする必要があります。ここで本市だけが短期間に一気に接続するとなると他の市町も接続したい箇所はあるはずなので調整が必要になります。

【野々山委員】先ほど補助金の話もありましたが、補助額よりも接続した際に削減できる経費の方が多いと思いますので、意見が通るかどうかは別にしても、計画は出していくべきではないかと思います。続けて質問してしまいますが、事前に配付された資料の経営分析を見ると一般会計からの繰入がかなりあると思います。歳入としては、使用料が考えられると思うのですが、使用料を上げることは可能ですか。

【下水道課長】上げること自体は可能ですが、現在の本市の料金は県内でも特に安いという状態ではないため、市民の理解を得るのは難しいと思われます。

【野々山委員】この経営分析は各処理施設ごとに作成されているのですか。

【下水道課長】作成していません。

【野々山委員】各施設ごとに作成しないと「分析」することは難しいと思います。

【鈴木委員】個人の下水道接続率が92.4%で横ばいになっていますが、これが限界とされていますか。

【下水道課長】こちらについては、毎年接続戸数自体は伸びているのですが、母数も併せて増えているため、割合としては横ばいになっているという現状で、わずかではあります、毎年割合も上昇しています。

【富田委員】使用料は下水と農集排で統一していたと思いますが、今でも同様ですか。

【下水道課長】同様です。

【村松会長】ありがとうございました。それでは続いて「住宅・建築安全ストック形成事業」のヒアリングに移ります。事業の説明をお願いします。

【都市計画課長】 《外部評価個別シートに基づいて説明》

【村松会長】先日の熊本の地震の際にも1回目の地震には耐えたが、2回

審 議 経 過

目の地震で倒壊してしまった家屋も多いと聞いています。災害発生後、フルの耐震化ではなくても部分的でも対応について何か予定をされていますか。

【都市計画課長】今のところ災害発生後の部分的な補助は考えていませんが、避難所の運営は行う予定をしています。また、部分的にはなりますがシェルター等の設置に対しては補助を行っています。

【望月副会長】トータルコストに関して28年度計画値は27年度実績値から大幅に増加していますが、その理由は何ですか。

【都市計画課長】予算は同程度なのですが見込みに対して、市民の方に補助制度を利用していただけでないという現状です。

【後藤委員】耐震化率とはそもそもどうやって算出しているのですか。

【都市計画課長】耐震化率は耐震基準を満たしている住宅棟数を全戸数で割って算出しています。

【鈴木委員】昭和56年以前に建てられた建築物全てが対象になるのですか。

【都市計画課長】実際に耐震工事をする際の対象になるのは耐震診断を実施した際に数値が1.0を下回る建築物です。

【村松会長】ありがとうございました。それでは続いて「家庭ごみ計画収集事業」のヒアリングに移ります。事業の説明をお願いします。

【環境課長】 《外部評価個別シートに基づいて説明》

【村松会長】ごみ減少化のためのプロモーション活動を教えてください。

【環境課長】27年度は広報及びホームページでPRしました。効果については、1日当りのごみ量は増加傾向ですがリサイクル率は向上しているという状態です。

【後藤委員】資源ごみの収入の実績を教えてください。

【環境課長】23年度2,992万円、24年度2,873万円、25年度2,234万円、26年度2,399万円、27年度3,198万円となっていて、25年度からは増加傾向にあります。

【後藤委員】増加の要因は何ですか。

【環境課長】一概には言えませんが、単価の変動や資源ごみの量が増加したことが要因と考えられます。

【野々山委員】家庭ごみの搬出量の資料を見ますと、PTAの回収量が減っています。子どもへのPRをより積極的に行っていくべきかと思いま

|                |  |
|----------------|--|
| <p>審 議 経 過</p> | <p>す。</p> <p>【富田委員】リサイクルという活動が浸透してきたことで、それを回収する民間の業者も増えてきています。今後は、官民で分業することも検討していくべきだと思います。また、現在のごみ袋の料金について、処理に係る経費の一部を受益者である市民に負担してもらう考えから設定しているとは思いますが、料金を引き上げて歳入を確保するということも検討してみたい。集積所に出すよりも自分で処分場に持って行った方が高くつくことには違和感を覚えます。</p> <p>【鈴木委員】ごみの集積について、市民から要望は出ていますか。</p> <p>【環境課長】特にありません。</p> <p>【村松会長】ありがとうございました。それでは最後に「長寿お祝い事業」のヒアリングに移ります。事業の説明をお願いします。</p> <p>【長寿介護課長】 《外部評価個別シートに基づいて説明》</p> <p>【村松会長】対象者の増加に伴って、事業の内容の検討が必要と思われませんがどうお考えですか。</p> <p>【長寿介護課長】観劇会は現在多くの方から満足をいただいています、当面は変更する予定はありません。</p> <p>【望月副会長】老人クラブの概要を教えてください。</p> <p>【長寿介護課長】65歳以上の人で参加は任意です。組織率は35%ほどになります。</p> <p>【鈴木委員】各行政区の老人クラブで市の長寿お祝い会への参加者を決める時に、全員が参加できるわけではないので揉め事が毎年おきている現状があるということをご承知いただきたい。</p> <p>【村松会長】他によろしいですか。ありがとうございました。事務局から事務連絡をお願いします。</p> <p>【事務局】ありがとうございました。<br/>本日は長時間にわたり大変お疲れ様でした。<br/>なお、お手元の外部評価シートが完成していない場合はお持ち帰りいただき、8月1日までに返信用封筒で企画政策課までお願いします。<br/>以上をもちまして、第2回行政評価委員会を終了いたします。<br/>《礼の交換》</p> |
|----------------|--|